

教頭の小部屋

2020.12.24
その4



劇向き

前号でチリの「今日はあなたのために。明日は私のために。」という言葉を書きましたが、以前、こんな光景を見ることがありました。

新年を迎えるまであと二日。部活のあと仕事をして、夕方に帰宅しようと車に乗って信号待ち。そこでふと見ると横断歩道に長さ1m、幅20cmぐらいの板切れが落ちていました。「うわ～、タイヤで板を踏むのは嫌だなあ。左右のタイヤでまたいで通るのも嫌だなあ。かといって対向車線にはみ出すのも迷惑だし・・・。」と考えていると、幼稚園ぐらいの男の子の手を引いて横断歩道を歩いて渡る母さんが・・・。反対の手には年末年始の買い物帰りなのか大きな買い物袋を2つ。両手がふさがったお母さんでしたが、板切れを見つけると、小さな男の子に何やら話しかけ、男の子の手を離しました。その離れた手で板切れを拾い上げ、ヒョイと小脇に挟んで、何事もなかったように男の子と手をつなぎ横断歩道を渡られました。たぶん「こんなところに落ちたら、みんな危ないだろうなあ。」と思ったのでしょうか。何気ないことですが、その光景に堀田は心が少し温くなりました。

みんなはどうでしょう？片手には『勉強や進路』という大きな買い物袋。もう片手には『日々の生活』や『友人関係』などなど、大きな荷物を持っている状態でしょう。気持ちに余裕がなくなって、落ちている板切れが目に入っていないかも。もしかしたら板切れに気が付いても、素通りしてしまっているかも・・・。特に3年生は進路に向かって「自分、自分・・・。」と自分のことばかり考えがちになっているかもしれません。進路は個人戦ではなく、団体戦なのです。自分の周りには、励ましあい、助け合い、支えあう仲間がいるはず。少し周りに目を向けて、心を配れる余裕を持ってください。今年もあと少し。やらなければいけないことは、すべてやり切って、新年は心に少しの余裕をもって、また頑張っていきましょう。

自分のことばかり考えがちになりそうなこの時期なので、こんな言葉。



『他力本願』

浄土真宗の教えにある言葉です。浄土真宗の宗祖は親鸞（しんらん）ですが、その親鸞が「オイ！教頭！もういいじゃん！人任せにしちやいなよ！」って言ったわけではありません。他力本願とは「人の力を当てにする。」と誤解されがちですが、本当の意味は、「他を大切にし、他力を自力に変えて本願をかなえる。」という意味なのです。

保護者の皆様へ

個人懇談では、お忙しい中ご来校ありがとうございました。担任としっかりお話いただけたでしょうか。さて、令和2年もとうとう終わりになります。令和3年には、3年生は新しいステージに、1・2年生は後輩ができる年になります。まずは残された3学期。生徒と一緒に職員一同頑張っていきます。本年もお世話になり、誠にありがとうございました。新年もまたよろしく願いいたします。

**本校校長は少食なので、お上品な年末年始を過ごされると思いますが・・・。
チキンにクリスマスケーキ、年越しそば、雑煮、おせち、お屠蘇・・・。
私にとっては、危険な冬休みにないそうです。皆様、よいお年をお迎えください。**

